

## 関節鏡についての紹介

- ・ **関節鏡検査とは**

関節鏡とは細い管の先にレンズとライトがついたもので、関節の周囲に5mmから1cmの穴を数カ所開けて関節内を覗き、モニターを見ながら診察とともに治療も可能です。切開手術のように患部を大きく切る必要がないため、身体の負担が少なく回復も早いのが特徴です。

- ・ **こんな症状や疾患の方は**

### **膝痛**

歩行時、階段にて痛みある方は膝の間にあるクッションの役割をする半月板損傷の疑いがあります。断裂した半月板を縫合、変性した半月板を一部切除することにより関節軟骨のすり減る病気である変形性膝関節症の進行を防ぐことが可能です。またスポーツ障害で膝がぐらぐらするなどの不安定性感のある方は靭帯損傷の可能性あります。診断は主にMRIで可能です。是非一度診察を受けて検査をお勧めします。

### **肩痛**

肩が痛く50肩と思っている方は肩腱板断裂の疑いがあります。腱板は肩を吊り下げている紐のようなもので肩の安定性に関与しています。断裂が小さい方が早期の治療で回復も早く手術になる可能性が低いです。まずはリハビリ、注射などの保存的治療をお勧めしますので是非診察をお勧めします。

### **股関節痛**

レントゲンを撮っても異常ないと言われ、寝返りなどの痛みで夜が眠れない方は股関節唇損傷の疑いがあります。股関節唇は半月板と同じで関節の間のクッションの役割をするもので診断が非常に困難です。特殊なレントゲンやCTにて診断可能です。

それ以外の関節痛（肘、足）についても関節・関節鏡外来にて対応可能です。



